

社員とともに(3)

安全・衛生

澤藤電機は、災害発生のプロセス『災害＝設備の不安全状態＋人の不安全行動』をふまえ、未然防止活動を基本とし、リスクアセスメント活動(R・A)と安全人間づくりに取り組んでいます。また、社員の健康の維持改善に向け、産業医とともに健康増進活動を展開しています。

■ 安全事務局巡視



■ 過去災害現場確認会



■ 産業医巡視風景



安全理念、推進体制

澤藤電機は、『安全は全ての業務に優先する』を掲げ、安全活動を展開し、『安心して働ける職場環境』をめざしています。

労働マネジメントシステムを参考にして安全衛生管理体制を整備し、労使同人数(2023年6月現在64名)で安全衛生委員会を運営しています。

安全衛生委員会の中には、災害予防小委員会、KYT(危険予知トレーニング)推進小委員会、健康増進小委員会、交通安全小委員会、火災対策予防小委員会の5つの小委員会をおき、計画に沿ってリスク低減活動をしています。

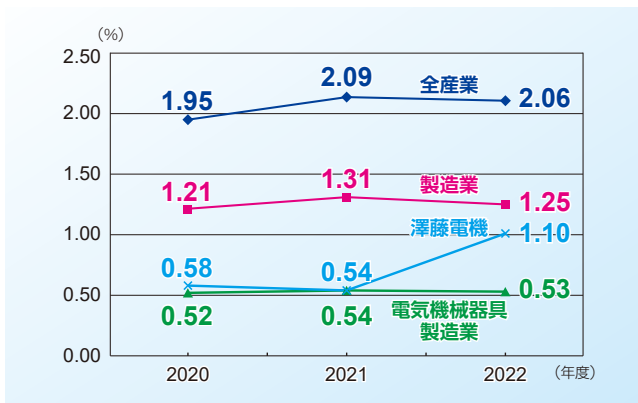
2022年度は新型コロナウイルス感染症対応の中、Web会議で安全衛生委員会を開催し、安全情報の共有化を途切れることなく実施しました。

安全活動

● 活動の実績

2022年度における労働災害度数率(休業)はグラフの通りでした。発生させてしまった災害に対しては不安全状態、不安全行動、管理的要素に分け要因を追求し、対策を行い『災害は出さない』を合言葉に活動してきました。

■ 労働災害度数率



$$\text{労働災害度数率} = \frac{\text{労働災害による死傷者数}}{\text{延べ実労働時間数}} \times 100\text{万}$$

● 交通安全活動

例年、全社員を対象とし、所轄警察署の講師による交通安全講習会を実施しています。2022年度も、新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしましたが、職場単位での交通安全の教育を実施いたしました。

『構内交通ルールを守れない人は公道でも守れない』という考え方で、構内での速度チェックやルール遵守の意識付け活動は継続的に取り組んでいます。



交通安全講習会(2019年度の様子)

■ 交通安全講習会 受講実績

年度	2020	2021	2022
受講者数(名)	999	—	—
受講率(%)	99.5	—	—

※ 正社員・有期雇用者・子会社出向社員含む

社員とともに(4)

社員の健康管理

多面的な健康管理の支援

澤藤電機は、社員一人ひとりの健康を第一に考え、全社で健康に配慮した取り組みを行っています。

■ 健康管理

社員の健康管理のため、法令に基づく健康診断を国内子会社も含め実施しています。また、人間ドック、がん検診などの健康管理も支援しています。

健康診断の結果、従来より実施している産業医の保健指導に加え、健康保険組合から派遣される管理栄養士による特定保健指導を実施しています。特定保健指導の対象となった人は、各自目標を設定して生活習慣の改善に取り組んでいます。

また、社員食堂においては、委託会社の管理栄養士と当社看護師が献立表についての打ち合わせを実施し、栄養バランスを考慮した通常メニューに加え、おいしくてカロリー減のヘルシーメニューも毎日提供しています。

■ 健康診断受診実績

年度	2020	2021	2022
受診者数(名)	875	913	890
受診率(%)	100.0	100.0	100.0

(出向者を除く)

■ 過重労働の抑制

澤藤電機では、健康確保のため、管理監督者を含む全ての社員を対象に労働時間の見える化を推進しており、厚生労働省の基準超過が認められる場合は、産業医による保健指導等の健康管理措置を講じています。また、労働時間の適正化について管理者への徹底を図るとともに、社員の健康管理措置の実施状況を経営層に報告し、情報を共有し、対策を講じることで、過重労働の抑制に努めております。

■ 疾病予防の取り組み

疾病予防の取り組みとして、社内報に各種がん検診についてのアドバイスや、ストレス解消法の紹介、歯周病チェックなどを連続で掲載し、啓発に努めています。また、医務室では看護師による相談受付や、自動血圧計を設置していつでも血圧測定ができるようにしています。

● ワクチン職域接種の実施

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、当社の事業継続および関係者の皆様の健康を守るため、従業員とその家族、構内常駐業者の皆様を対象に、当社食堂にて1回目～4回目の職域接種(社内でのワクチン接種)を実施いたしました。

■ メンタルヘルス研修

メンタルヘルスケア指針に基づいて、社員自身によるセルフケア、管理監督者によるラインケア、産業医、看護師、社外の専門家によるケアを実施しています。また、メンタルヘルスに対する理解向上を図るため、外部講師による研修を毎年実施しています。

2019年度は、群馬産業保健総合支援センターから講師を招き、全社員を対象に、ストレスに対する考え方、その対処法、リラックスするための方法について理解を深める研修を実施しました。

2020～2022年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。



メンタルヘルス研修(2019年度の様子)

■ 受講実績

年度	2020	2021	2022
受講者数(名)	—	—	—

■ 暑気対策の取り組み

暑気対策の一環として、社員への啓発および熱中症予防策の周知を図るために、スポーツドリンクメーカーの講師による熱中症予防対策セミナーを実施しました。また、夏季限定の対策として、生産スタッフへのスポーツドリンクの配布、スポーツドリンクの購入価格を一部会社負担するなどを行っています。

2020～2022年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。



熱中症予防対策セミナー(2019年度の様子)

■ 受講実績

年度	2020	2021	2022
受講者数(名)	—	—	—

■ 職場の分煙化

社員の健康管理のため、受動喫煙防止対策として分煙化の推進を行っています。

事務棟・食堂に加え、工場内についても終日全面禁煙とし、建屋外に喫煙場所を設置し分煙化を実施しています。

ステークホルダーとの対話

澤藤電機では、お客様、地域社会、株主・投資家様、代理店・特約店様、仕入先様、社員などさまざまなステークホルダーとの対話を重視したCSR経営を推進しています。

定時株主総会開催

株主総会では、事業の状況、報告事業等について会社側から株主様に丁寧な説明がなされ、次いで決議事項の審議がなされました。会社が提出した全議案について、採決の結果、原案通り承認可決され、閉会いたしました。

地域住民との対話

地域社会と会社との関係を良好に保ち、かつ会社に対する理解を深めていただくために、近隣の地区役員の方々と情報交換会を定期的に行い、近隣からのご要望、ご意見に対して迅速に対応できるよう連携をとっています。



地区役員の方々との情報交換会

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、状況に応じ開催可否を判断しながら実施いたしました

福祉施設の皆様との交流

地域社会の社会貢献活動の一環として、会社と労働組合が合同で近隣の福祉施設6カ所をクリスマス訪問いたしました。社員からのカンパ金でクリスマスケーキとお菓子のプレゼントをお渡ししてきました。

新型コロナウイルス感染症対策として、交流の時間を最小限に抑えての実施となりましたが、施設の方は澤藤サンタを毎年楽しみにしてくださっているとのおことで、訪問を大変喜んでいただけました。



福祉施設の皆様との交流会(2022年12月9日)

クオリティフォーラム

一般事例発表：SQC 活用事例

一般事例発表（11月10日）

【クオリティフォーラム】

日本科学技術連盟の主催で、品質月間の11月に毎年開催されています。時流に合った企画講演、日本品質奨励賞受賞企業による記念講演、管理・監督者による一般事例発表で構成されています。

開催日

2022年
11月9日(水) - 11月11日(金)

会場

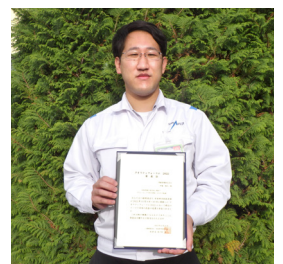
日本教育会館(東京都千代田区一ツ橋)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインと会場集合のハイブリッド開催となりました。

一般事例発表として、生産技術部の伊藤優汰さんが『切粉問題を統計的に解決！ コアムービング加工の切粉によるチョコ停低減』と題してリモート発表を行いました。発表内容は、機械加工における切粉問題をSQC手法である応答曲面法で解析し、面粗度・刃具寿命・加工時間について同等以上の品質を維持したまま、切粉の長さを短くすることに成功した事例です。



リモート発表風景



発表証(伊藤さん)